

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2019年度 パフォーマンス向上会議情報(2019年4月4日(木)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2019年4月4日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【6号機「エリア放射線モニタCH. 31下限」警報の発生について】 6号機「エリア放射線モニタCH. 31下限」警報の発生を確認。 原因は当該放射線モニタ検出器内部のバグソース※劣化により、一時的に指示値が下限になったと推定。 当該放射線モニタの検出器は正常に測定でき、系統への影響はなし。 今後、当該放射線モニタの点検予定。 ※バグソース:検出器内部に取り付ける低線量の線源で機器故障を判別することを目的としている</p>	GⅢ	4月1日
2	<p>【海水放射線モニタの停止について】 「サンプル取水ポンプ出口圧力低」警報が発生し、サンプル取水ポンプの停止により、海水放射線モニタが停止。 なお、海水放射線モニタが停止中であるが、実施計画の要求である毎日1回の港湾口の海水分析は継続して実施。 今後、海水放射線モニタの点検予定。</p>	GⅢ	4月2日
3	<p>【サブドレン浄化設備供給ポンプ(B)流量・圧力が上昇しない件について】 浄化運転開始時、流量・圧力が上昇せず「供給ポンプ(B)出口圧力低」の警報が発生し、当該ポンプが停止。 今後、原因調査を実施。</p>	GⅢ	4月2日